

(一) 遠山川 「遠山郷いい川づくり」について

【趣 旨】

- ◇ 最新の多自然川づくりの考え方を取り入れ
 - ◇ 地域の特徴を活かした河川改修を推進
- 【具体的な整備方針】 ① 局所的なネック箇所の解消、護岸整備
② H24 年度から概ね 5 カ年程度で工事

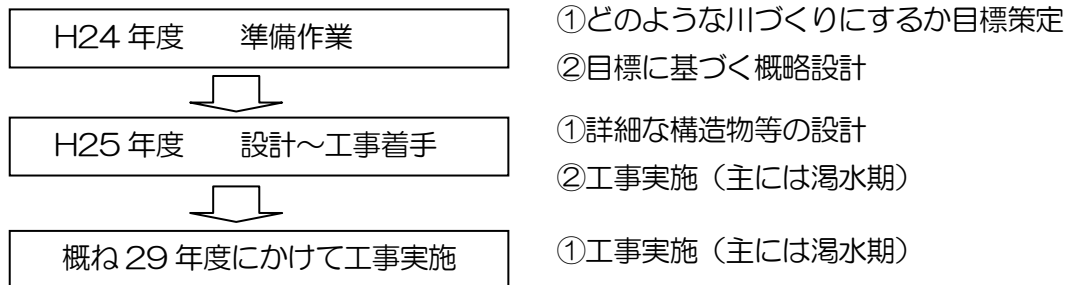
■最新の多自然川づくりとは・・・・・・・・

現在の河岸やみお筋が良好な環境を形成している場合には、現況の平面形や横断形にならない、それをできるだけ保全し改修後の流速をあまり増加させないこと。河岸・水際部の計画・設計にあたっては、治水機能の確保と共に、河岸・水際部が本来有する河川景観及び自然環境面での機能が十分発揮されるように行うこと。

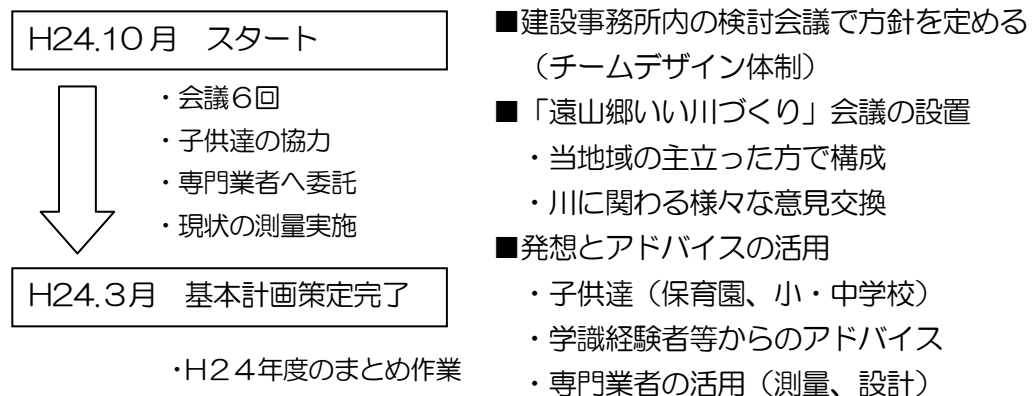
■地域の特徴を生かした河川改修とは・・・・・・・・

河川は、過去、現在、将来にわたり現に存在し続けるものであり、いわゆる河川管理者のみが整備、維持管理を行うのみではなく、「川づくり」について地域住民が協働・共有し、将来的な利用や維持管理を考えた上で、それぞれの地域に適した河川整備を行うこと。

【事業全体のスケジュール】



【H24 年度までの実施内容】



【H25年度のスケジュール】

H25.6月 詳細設計開始

- ・ 専門業者へ委託
- ・ 学識経験者アドバイス
- ・ 設計内容の説明会
- ・

- 目標の具現化に向けた作業
 - ・ 詳細設計業務
- 専門家のアドバイスを活用
 - ・ 専門業者の活用(設計)
 - ・ 学識経験者からのアドバイス(現地調査を含む)
- 地域の皆様との協働作業
 - ・ 説明会等による情報共有
 - ・ 住民参画の仕組み検討(いい川づくり会議)
 - ・ 持続可能な取組の検討

H25.9月 工事発注

- 工事説明会
- 工事中のモニタリング
 - ・ 地域住民からの情報提供等

H25.3月 工事完成

- 工事完成後の確認、評価
 - ・ いい川づくり会議の活用(組織検討)
 - ・ 持続可能な取組の検討

遠山郷いい川づくりの目標

「人・自然・文化のハーモニー！ 奏でつづける遠山川」実現のために

ハード面

- 詳細設計に基づく工事の実施(平成25年度～概ね5年間)

ソフト面

- 地域内での情報共有、情報発信
- 工事中のモニタリング等
- 工事完成後の維持管理

第5回会議、第6回会議の内容から

具体的取組について

- 目標を達成するための取組
- 地域住民の積極的な関わりを持った取組

◇ 「ハーモニー」＝「協働」(目標を共有しともに力を合わせて活動すること)

- ・ 景観等の維持及び管理(草刈り、雑木除去、河畔林管理、清掃等)
- ・ 長野県「川のアダプトプログラム」への参画等

◇ 奏でつづける＝「持続性のある取組」

- ・ 河川状況のモニタリング(工事中・出水後・定期的)
- ・ 施設等の点検(危険箇所、健全性の点検確認)
- ・ 修繕等(小規模、大規模)

「遠山郷いい川づくり」会議の常設

- 取組の基本方針、他
- 過去の災害の啓蒙
- 広報、情報提供、連携
- 検証、評価
- 将来計画(修繕計画等)